

Nara Women's University

奈良女子大学附属中等教育学校の目指すSSH

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 奈良女子大学附属中等教育学校 公開日: 2009-12-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 植野, 洋志 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10935/998

奈良女子大学附属中等教育学校の目指す SSH

奈良女子大学附属中等教育学校は、平成 17 年 4 月に文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール (SSH) としての指定を受け、現時点で、ほぼ一年間の活動を完了しました。ここにお届けします研究開発実践報告書は、本校におけるこの一年間の SSH の活動を取りまとめたものです。ぜひご覧いただきたく存じます。

本校は、中高 6 年一貫校として中等教育学校を立ちあげ、本年度、最初の卒業生を輩出いたしました。自由・自主・自立の校風のもと、6 年間で 3 期に分ける 2-2-2 制の教育方針で人材の育成を図ってきました。平成 11 年度から平成 16 年度までの二期六年間にわたって行ってきた研究開発校としての実績を基盤に、SSH では、昨今社会的に問題視されている理数離れや学力低下という課題に対して積極的に取り組もうとしています。

本校の SSH プログラムの特色は、基本的に以下の 4 点です：

- 1) 文系・理系に偏らない基礎学力を重視する
- 2) 中高 6 年一貫教育校の特色を活かして前期課程生（中学生）も参加する
- 3) 理数が得意な生徒を 3 年以降から徐々に絞り込んで、大学と連携して力を伸ばしていく
- 4) 身の回りの現象に興味を持つことでサイエンスする心を養う「生活科学的素養」を育成する

この基本に沿ってリテラシー教育を構想し実践することで、理数の得意な人間、および理数を理解できる文化人の育成につながるのではないかと考えています。

自然科学リテラシーの育成を目標とする本校の SSH カリキュラムの編成は、まだ緒についたばかりです。自己学習力を身につけ、大学進学後も力を伸ばしていく生徒を育てる指導法の研究開発も、本校の取り組みの 1 つです。今年度の成果の一端を、本報告書に読み取っていただければ幸いです。

奈良女子大学は、文学部・理学部・生活環境学部の 3 学部よりなる小規模大学ですが、幼稚園より大学院博士課程までを擁する、所謂、生涯教育を実践できる数少ない国立大学法人です。その中でも、生活環境学部には管理栄養士と栄養教諭を養成する食物栄養学科があり、附属学校園と連携しながら「食教育」を行える体制にあります。平成 17 年 6 月に制定された「食育基本法」により、幼児期からの「食教育」は今後の重要な教育課題であり、現在の高齢化社会で問題となっている生活習慣病に対する取り組みとしても関連づけられています。本校では、来年度より SSH プログラムに生活科学リテラシーという概念を取り入れて「食教育」問題にも取り組もうとしています。その為には、保健体育科・家庭科・理科を中心に全教科の参加が必須であり、その実践にあたり英知をしぼる必要があります。関係各方面のご助言とご鞭撻をお願いする次第です。

末筆になりましたが、この一年間、SSH の活動にご協力いただきました各研究機関の先生方、的確なご指導をしていただいた SSH 運営指導委員の先生方、そして事務手続き等でお世話になりました文部科学省と科学技術振興機構の皆様に本校教職員を代表してお礼申し上げます。

奈良女子大学附属中等教育学校長
(生活環境学部教授)

植野 洋志